

福岡県、建設業のD X推進に本格着手 「診断ツール」公開や経営者研修会で伴走支援

福岡県は8日、深刻な人手不足や若手社員の定着難に直面する建設業界の業務効率化と働き方改革を後押しするため、「建設業D X推進」の取り組みを開始すると発表した。県が企業とともに歩むパートナーとして伴走支援を行い、魅力ある建設業の実現を目指す。

取り組みの第一弾として、企業が自社の課題を把握しD X導入のきっかけづくりとなる「建設業D X診断ツール」を専用ウェブサイト (<https://fk-kensetsudx.jp/>) で公開。同ツールは土木工事に携わる建設事業者を対象としており、I C T施工や工事情報共有システム (A S P)、遠隔臨場、分業体制などに関する8つの質問に答えることで、自社のD X進捗状況を無料で簡単に診断できる。

また、労働環境改善やD X活用のノウハウを共有する「経営者研修会」を県内2カ所で開催する。研修では、県による土木工事のI C T入門講座や中小企業診断士による人材確保・離職防止策の解説、建設ディレクターの紹介、各種助成制度の案内などが予定されている。

【経営者研修会の概要】対象は福岡県内で土木工事に携わる建設業者。◎日時・場所・申込先：①9月14日（月）13：00～17：00、場所：田川文化センター 小ホール（田川市平松町3-36）、申込締切：9月10日まで。申込窓口：（一社）福岡県土木組合連合会田川支部（TEL：0947-44-1445）。②9月25日（金）13：00～17：00、場所：福岡県自治会館201・202会議室（福岡市博多区千代4-1-27）、申込締切：9月16日まで。申込窓口：（一社）福岡県土木組合連合会朝倉支部（TEL：0946-22-3147）。

主催は、福岡県建設産業雇用改善プロジェクト推進協議会。県は今後、現場での実践的なI C T施工体験会などの開催も予定しており、建設現場のデジタル化を幅広く支援していく方針だ。